

「三重県総合教育センター メール通信」

第1号（平成27年6月2日発行）

ごあいさつ



学びを支える県民運動



風薫る5月、鮮やかな新緑の中を保護者や地域の方々に見守られながら、子どもたちがにこやかに登校する姿を目にします。そんな様子を見るたび、「学校へ行くことが楽しい。」「もっと学びたい。」どの子どもこう思えるよう、さらなる教育の充実を目指して取り組まなければ、と心を引き締めます。

さて、本県においては、子どもたちが、自らの夢の実現をめざし、主体的に学び、自信と意欲、高い志を持って輝く未来を切り拓いていく力の育成に向けて、平成24年度から多くの県民の皆さまと協働して「みえの学力向上県民運動」を展開しています。

さらに、「未来を築く子どもの学力向上協創プロジェクト」を実施し、学校・家庭・地域が一体となって、県民総参加で子どもたちの学力向上を支援する取組を進めるとともに、各学校では、子どもたちが主体的、協働的に学ぶ授業の工夫や改善を図るための支援事業を展開しているところです。

そこで、研修担当（三重県総合教育センター）では、子どもたちが、様々な学びをとおして「自立する力」と「共に生きる力」を育み、社会に参画し、その発展を支え、他者とともに人生を豊かなものにすることができるよう、教職員の方々に系統的で質の高い研修を提供していきたいと考えています。

教職員の皆さまには、教育の専門家として、研究・研さんを重ね、より質の高い教育活動を行っていただくため、研修担当の企画する研修を積極的に活用していただくとともに、研修内容や研修メニューに対する忌憚のないご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

三重県教育委員会事務局
次長（研修担当） 中田 雅喜

特集

授業改善につながる授業研究を進めましょう

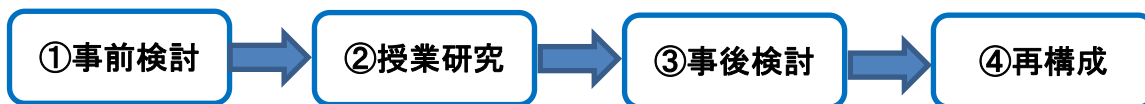
本年度の校内研修の推進に向け、各学校では、研究テーマの設定、年間計画の策定等、さらなる充実に向けた取組が進められていることと思います。



平成26年度の全国学力・学習状況調査結果を見てみると、本県における各学校での「授業の実施回数」は全国的に見ても高い数値になっています。このことを「強み」とし、子どもたちの学力向上に向け、教員同士の学び合いを一層充実させていきましょう。

そのためには、「授業研究」を学校全体で組織的・継続的に取り組んでいくことが重要です。次の「授業研究の進め方」を、ぜひ各学校での取組の参考にしてください。

授業研究の進め方



①事前検討

子どもの姿をしっかりと捉え、授業のねらい等を明らかにしながら、授業をデザインし、全職員で参観の視点を共有します。

〈指導案検討の視点〉

- ・研究テーマに基づいていますか。
- ・子どもの実態をふまえた具体的な目標を設定していますか。
- ・課題設定は適切ですか。
- ・教材観は明確ですか。
- ・評価項目、評価方法は適切ですか。
- ・課題をふまえた振り返りの場面が設定されていますか。 など

②研究授業

授業では子どもの姿に視点を置きます。

〈授業者〉子どもの反応に対し、柔軟に授業を展開します。

〈参観者〉子どもの表情の変化やつぶやきを見逃さないようにします。

③事後検討

授業で子どもは何をどのように学んでいったのかを語り合います。

〈大切にしたい視点〉

- ・協議の柱を明確にし、「焦点化」を図ります。
- ・本時のねらいが達成できたか、子どもの学びや変容に基づいて参加者全員が語り合います。
- ・授業研究会で学んだことから一人ひとりが具体的な授業改善策を持ち「自分化」します。
- ・ホワイトボードや付箋等を用いて研究協議の内容を「視覚化」します。
- ・授業研究会の成果を記録に残し、次の授業研究会の視点を明らかにします。

④再構成

今までの事前検討、研究授業、事後検討での成果や課題をふまえ、次の授業研究に向け再構成します。

子どもたち一人ひとりが、学ぶ喜びわかる楽しさを実感できるよう、日々授業改善に取り組んでいきましょう。

お知らせ

〈教科等研修〉

子どもたちの学びのために、さあ、始めましょう！！

【国語授業スキルアップ研修(小学校)3日間:第1回〔市町教育委員会との連携講座〕】

6/15(月)13:45~16:45 明和町立明星小学校

示範授業・講義・演習 「単元を貫く言語活動を位置づけた国語科の授業づくり」

講師 筑波大学附属小学校 教諭 青木 伸生

<学校改善活動(学校マネジメント)研修>

よりよい学校づくり、学級づくりに役立つ研修です。目指す学校像を実現するため、対話と気づきを大切に、組織的に改善していくプロセスを学ぶこの研修を、ぜひご受講ください！

【学校関係者評価研修】

保護者や住民等の学校運営や教育活動への参画に向けて、効果的な学校関係者評価のあり方について研修します。本年度は、実践事例発表も行います。

6/28(日) 総合教育センター

6/29(月) 県松阪庁舎

6/30(木) 県四日市庁舎

※学校経営品質向上活動(学校マネジメント)研修は、Webからの申込は受け付けておりません。小中学校については市町教育委員会を通じて、県立学校については直接、案内を送付します。

<教育相談研修>

一人ひとりの子どもを丁寧に見つめ、寄り添いながら理解を深めるために、下記のような研修をご案内します！

【教育相談事例研究講座】

3日間の事例研究をとおして、受講者同士が、子どもや保護者へのかかわり方や各学校の教育相談体制を学び合う講座です。

【ケースカンファレンス】

事例検討を中心に行います。どなたでもご参加いただける講座です。事例発表ご希望の方(事例発表は上級修了者に限ります)は、教育相談班までご連絡ください。(Tel059-226-3728)

【臨床心理相談専門員をご活用ください！】

- ・校内事例検討会、校内研修会など、教育相談に関わる様々な研修会の講師をつとめ、心理臨床の視点から支援します。
- ・子どもや保護者への関わり方等について、担任や養護教諭、教育相談担当者等へのコンサルテーションを実施しています。

※お問い合わせは教育相談班まで。(Tel059-226-3728)

<ネットDE研修>

ネットDE研修なら、全国的にも高名な講師陣による研修が、

「いつでも」・・・「〇〇について研修を受けたい！でも日程が・・・」という時でも

「どこでも」・・・「あの人の講演を聞きたい！でも出張はちょっと・・・」という時でも

「なんどでも」・・・「あの講座のあの内容をもう一度聞きたいけど・・・」という時でも

ぜひ積極的にご受講を！

【平成26年度 たくさんの先生方が受講された人気の講座をご紹介します】

【職務・職能】 教職員のためのビジネスマナー講座～良好な人間関係づくりのために～

【職務・職能】 これで安心！新任先生のための8つの心構え

【人権教育】 「人権教育カリキュラム」の作成について

【学級経営】 尾木直樹の“子どもが自立する学校” - その秘訣 -

【コンプライアンス(法令遵守)】 教育活動における体罰の防止 - 学校観の変化の中で -

【授業方法】 思考力・判断力・表現力等の育成と言語活動の充実

【特別支援教育】 クラスの中にいる『気になる子ども』をどう支援するか

【授業方法】 全国学力・学習状況調査結果を踏まえた授業改善～言語活動の充実を図る～

【授業方法】 達人に学ぶ授業 盛山 隆雄

【学級経営】 学級集団を「育てる」

【教科指導等】 知らんとアカン！～お金のはなし～ **今すぐアクセス!!**→<http://websv.mpec.jp/inavi/>

☞「ネットDE研修」の視聴に関して困った時には、次をクリックしてください。

<http://www.mpec.jp/modules/tinyd2/index.php?id=5>（当センターWebページ → 2 ネットDE研修 → 05 よくある質問）

それでも解決できないときは、研修推進課 テーマ研修班(059-226-3659)までご連絡ください。

このメール通信は、教職員研修に関する様々な情報を定期的にお届けするために発行しています。「こんなコンテンツを載せて欲しい」「こんな研修を受けたい」などのご意見・ご要望等ございましたら、研修企画・支援課までお寄せください。

三重県総合教育センター メール通信 平成27年度 第1号

発行元 三重県教育委員会事務局 研修企画・支援課 企画・支援班

電話：059-226-3731 FAX：059-226-3706 E-mail：kenshien@pref.mie.jp

三重県総合教育センター Web ページ <http://www.mpec.jp/>

